



# 発熱・のどの痛み 溶連菌感染症にご注意を

令和2年2月12日  
富山県感染症情報センター

(0766-56-5431 直通)  
(0766-56-8142 細菌部)  
(0766-56-8143 ウイルス部)

## 感染症発生動向速報

(令和2年第6週分・2月3日～2月9日)

### 《インフォメーション》

#### ●A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(溶連菌感染症)

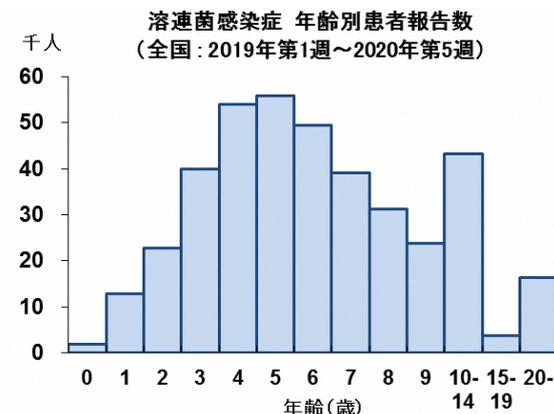
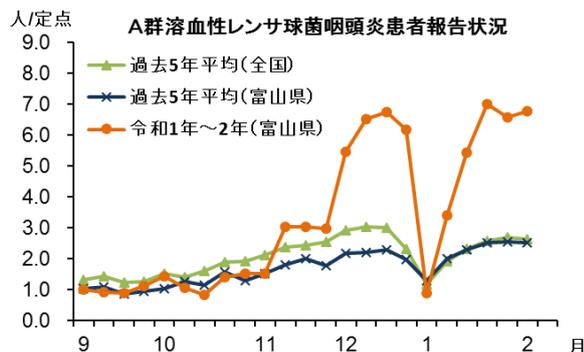
今週、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数が定点医療機関あたり6.79人となり、先週(6.59人)に引き続き、平年よりも報告数が多い状況が続いています(右上図)。

本感染症の潜伏期は2～5日であり、突然の発熱(38～39℃)やのどの痛み、全身倦怠感によって発症し、しばしば嘔吐を伴います。体や手足に小さくて赤い発疹が出たり、舌に赤いブツブツができたりすることもあります(莓舌)。

抗菌薬の投与により治療できるため、治療経過は一般的に良好です。症状が消失しても医師が処方した期間までは、しっかりと薬を飲み続けることが大切です。途中で飲むのを止めた場合には、菌を完全に排除することができず、再発する事があります。また、肺炎や急性糸球体腎炎等の合併症を起こすことがあります。

本感染症の感染経路は主に飛沫、接触感染です。患者のほとんどは小児であり(右下図)、家庭での兄弟間や学校、幼稚園、保育園などの小児集団生活施設内で感染することが多いです。

**感染予防のために、手洗いやうがいを心がけましょう。**



### 《全数報告の感染症》

- 二類感染症 結核 3件 (①60歳代、女性 ②70歳代、女性 ③80歳代、男性)
- 三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 1件 (50歳代、女性、血清群不明、VT2)
- 五類感染症 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1件 (第5週診断分：80歳代、女性)
- 百日咳 3件 (①10歳未満、男性 ②10歳未満、女性 ③10歳未満、女性)

### 《定点報告の感染症》

今週の県内上位6疾患		定点あたりの数	
順位	疾病名	今週(増減)	先週
1位	感染性胃腸炎	8.10(↓)	8.79
2位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	6.79(↑)	6.59
3位	インフルエンザ	5.33(↓)	10.00
4位	水痘	0.83(↑)	0.48
5位	咽頭結膜熱	0.72(↑)	0.62
6位	伝染性紅斑	0.69(↓)	0.79

この内容は以下のホームページでさらに詳しくご覧いただけます  
アドレス <http://www.pref.toyama.jp/branches/1279/kansen/>

○感染症発生動向調査報告状況（令和2年第6週 令和2年2月3日～令和2年2月9日）

分類	疾患	今週報告分（第6週）						累積報告数					
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
二類感染症	結核			1	1	1	3	1		2	2	10	15
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症					1	1			1		3	4
四類感染症	A型肝炎							2					2
	レジオネラ症							1					1
五類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症									1	1	2	4
	急性脳炎							2					2
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症											2	2
	侵襲性肺炎球菌感染症									1		1	2
	水痘（入院例）									1		2	3
	梅毒							1				1	2
	百日咳				2	1	3					5	6
定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す)	インフルエンザ	79	12	63	36	66	256	577	243	607	533	775	2,735
		11.29	2.40	4.85	5.14	4.13	5.33						
	RSウイルス感染症			1	1	4	6	1	4	11	1	24	41
				0.13	0.25	0.40	0.21						
	咽頭結膜熱	2	11	1		7	21	10	18	20	3	25	76
		0.50	3.67	0.13		0.70	0.72						
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3	10	76	14	94	197	22	26	342	63	421	874
		0.75	3.33	9.50	3.50	9.40	6.79						
	感染性胃腸炎	33	34	49	15	104	235	228	131	216	104	618	1,297
		8.25	11.33	6.13	3.75	10.40	8.10						
	水痘	3	5	5	3	8	24	13	13	16	9	36	87
		0.75	1.67	0.63	0.75	0.80	0.83						
	手足口病	5		2		2	9	14		9	1	33	57
		1.25		0.25		0.20	0.31						
	伝染性紅斑	2	2	1		15	20	8	6	10		95	119
	0.50	0.67	0.13		1.50	0.69							
突発性発しん		2	4	3		9	3	4	23	11	18	59	
		0.67	0.50	0.75		0.31							
ヘルパンギーナ	2		1			3	8		6			14	
	0.50		0.13			0.10							
流行性耳下腺炎										2	1	3	
流行性角結膜炎		1		1		2		4	6	2		12	
		1.00		1.00		0.29							
無菌性髄膜炎										1		1	
マイコプラズマ肺炎		1				1		2	1	5	2	10	
		1.00				0.20							
インフルエンザによる入院患者（*）		4			11	1	16	41	5	25	64	44	179

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

\*インフルエンザによる入院患者累計報告数は、令和元年第36週(9月2日)～の集計です。

## インフルエンザ定点における患者診断状況

このデータは、インフルエンザ定点医療機関で実施されたインフルエンザ迅速診断キットの診断数を集計したものです。

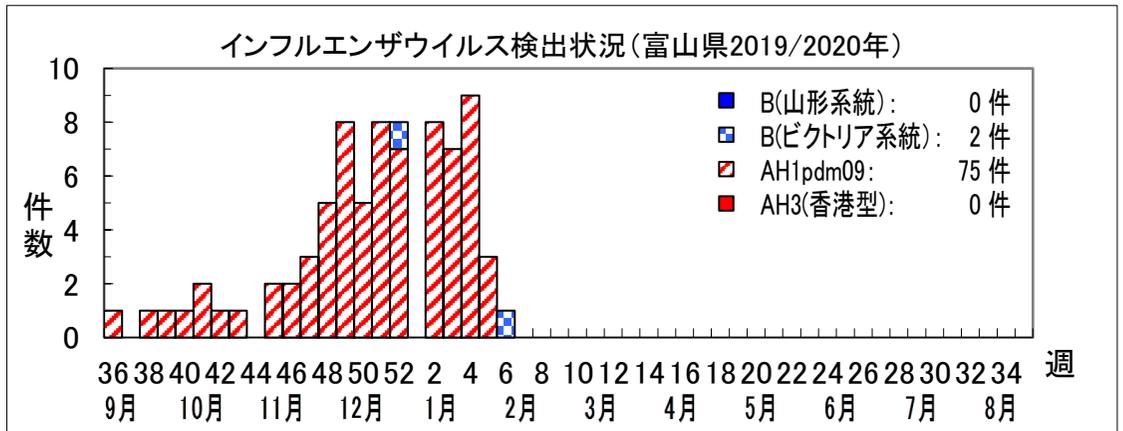
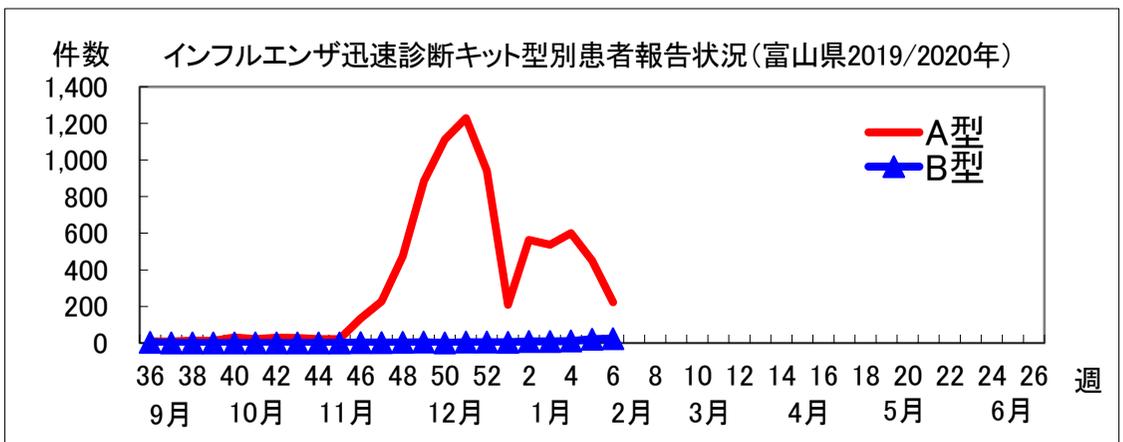
現在、下の表によると、A型が87.1%となっています。

### 第6週(2/3～2/9)：富山県 5.33人/定点

(単位:件)

厚生センター・保健所名	報告数/定点数	迅速診断キット		その他 <sup>※2</sup>	合計
		A型	B型		
新川	6 / 7	72	0	7	79
中部	4 / 5	12	0	0	12
高岡	10 / 13	54	8	1	63
砺波	7 / 7	25	10	1	36
富山市	11 / 16	60	6	0	66
富山県	38 / 48 <sup>※1</sup>	223	24	9	256
富山県累計(2019年36週～)		7,779	108	300	8,187

※1 48の定点医療機関のうち、インフルエンザと診断した医療機関が38か所あったことを示します。  
 ※2 「その他」には、臨床症状等によりインフルエンザと診断したが型別までは不明な患者や迅速診断キットの結果がA型とB型共に陽性の患者が対象となります。



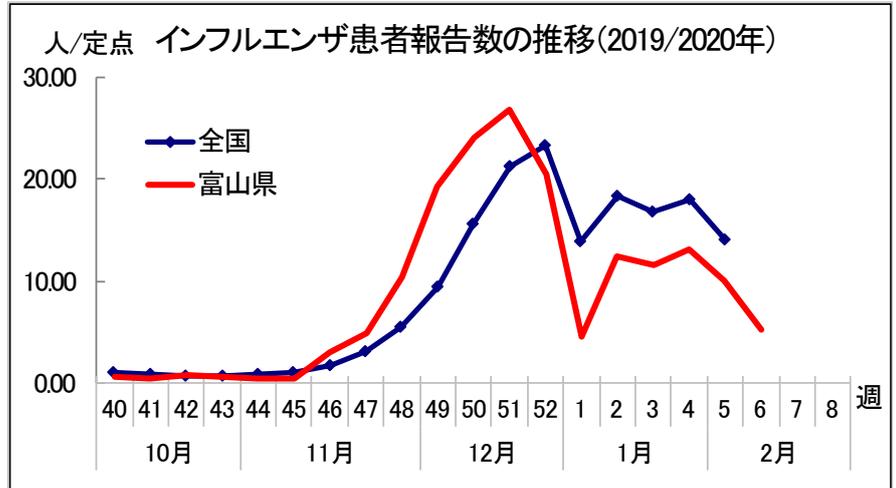


● 定点医療機関からのインフルエンザ患者報告状況

第6週 (2/3~2/9) : 富山県 5.33 人/定点

新川 HC (11.29)、中部 HC (2.40)、高岡 HC (4.85)、砺波 HC (5.14)、富山市 HC (4.13)

今週、県内のインフルエンザ報告数は、定点医療機関あたり 5.33 人となり、先週(10.00)から減少しました。県内のインフルエンザの流行は縮小傾向にあります。

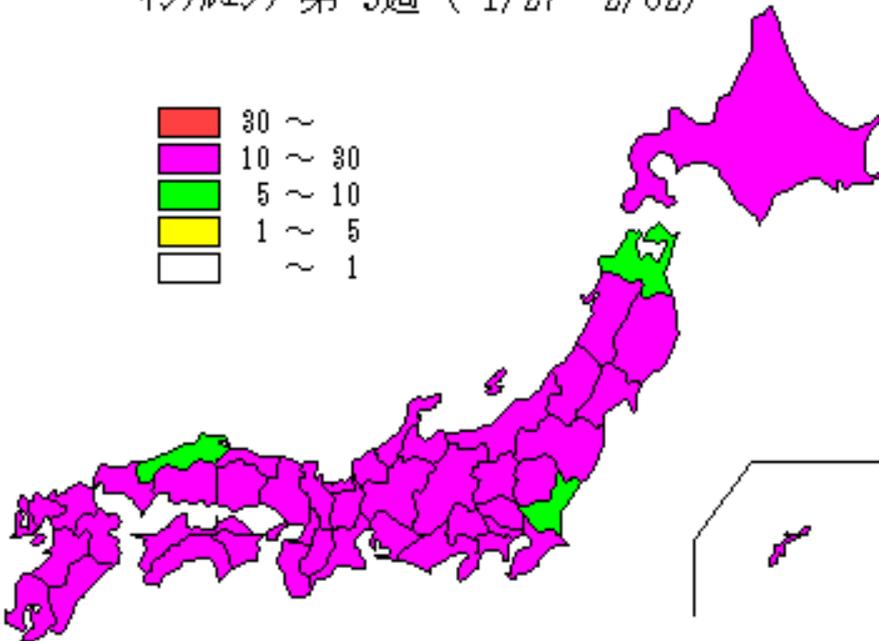


● 都道府県別インフルエンザ患者報告状況 第5週 (1/27~2/2)

全国の患者報告数は、定点医療機関あたり 14.11 人となり、前週の 18.02 人より減少しました。

北海道で前週より増加しています。46 都府県で前週より減少しています。

インフル第5週 (1/27- 2/02)



都道府県	人/定点	都道府県	人/定点
北海道	10.75	滋賀県	15.06
青森県	8.03	京都府	12.30
岩手県	16.80	大阪府	16.88
宮城県	10.43	兵庫県	15.64
秋田県	11.93	奈良県	14.47
山形県	14.28	和歌山県	11.63
福島県	15.77	鳥取県	11.69
茨城県	9.38	島根県	9.53
栃木県	10.68	岡山県	16.86
群馬県	15.66	広島県	10.77
埼玉県	14.81	山口県	10.88
千葉県	15.98	徳島県	10.95
東京都	11.21	香川県	12.70
神奈川県	12.18	愛媛県	17.02
新潟県	18.28	高知県	21.23
富山県	10.00	福岡県	16.18
石川県	13.98	佐賀県	18.41
福井県	15.38	長崎県	19.00
山梨県	14.15	熊本県	11.21
長野県	14.75	大分県	17.21
岐阜県	10.10	宮崎県	19.66
静岡県	15.59	鹿児島県	16.91
愛知県	19.76	沖縄県	13.48
三重県	15.30	全国	14.11